
空手部の日常

ニッペマン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

空手部の日常

【Nコード】

N2157BA

【作者名】

ニッペマン

【あらすじ】

空手部シリーズとは、「Babylon Stage 27『誘惑のラビリンス』第三章『空手部・性の裏技』」に登場する、空手部トリオの日常を描いた作品である。

らーめんを食べに行くの巻（前書き）

大先輩でも分かる、名前の読み方講座。T D K R（田所）、M U R（三浦）、K M R（木村）、???（特別ゲスト）

らーめんを食べに行くの巻

チャイムくん「キンコンカンコーン！（迫真）」

―――学校屋上―――

TDKR「MURさん夜中腹減んないすか？」

MUR「減らねーな」

TDKR「じゃけん、夜ラーメン食いにいきましようね」

―――道中―――

TDKR「ぬわあああんもうつかれたもおおん←」

MUR「ちかれた・・・（小声）」

KMR「まだ30mしか歩いてませんよ」

MUR「ラーメン屋までどのくらいかかるんだ？」

TDKR「3時間くらい（適当）」

MUR「おっ、そうか」

数分後

MUR「おいTDKRオ！全然つかないじゃねーか（憤怒）」

TDKR「あれーおっかしいな」

KMR「先輩、もしかして道に迷ったんですか？」

TDKR「ま、多少はね？」

数分後

MUR「もうすっげーつかれたゾー←」

KMR「諦めて帰りましようよ」

TDKR「なんだよ2人ともだらしねえな」

MUR「KMR・・・（マジギレ）」

MUR「おいKMRア、羽交い絞めにしろ」

KMR「はい」

???「（なにやってんだあいつら？）俺も仲間にいれ」

キキー！ドンッ！（迫真）

???「誰か轢いちゃったよ、やべえよやべえよどうする・・・？」

TDKR「えっ？えっ？MURさ、MURさん勘弁してくださいよ
ー」

MUR「じゃあ（腹に）ぶち込んでやるぜ」（震え声）

TDKR「ンアッー！」

TDKRはMURにボコボコにされて終了

メダリンクをするの巻

TDKR「うちさあ、メダリンクあるんだけどやってかない？」

MUR「やりてーなー」

TDKR「じゃけん、後で家に寄りましようね」

―――野獣邸―――

TDKR「あがって、どうぞ」

MUR KMR「お邪魔しまーす」

TDKR「飲み物持ってくるから、適当に座ってまってて」

KMR「はい」

MUR「おっ、ベットの下にエロ本あったゾ」

KMR「MURさん勝手にイジっちゃまずいですよ」

MUR「そうだな（素直）」

TDKR「おまたせ！麦茶しかなかったけどいいかな」

KMR「いただきます」

TDKR「それじゃはじめよっか」

―――メダリンク接続―――

KMR「先輩達のメダロットってどんなのですか？」

MUR「ポッチャマ」

TDKR「射撃タイプウ（大嘘）」

KMR「それじゃあ僕はサポート型にしますね」

TDKR「じゃあさ、ちよっと相手検索するから」

MUR「おっ、見つかったみたいだな」

KMR「相手はTDN DB HTNって人達ですね」

TDKR「犬型とホッケ型と幽霊型か！これもう勝てるかわかんねえな」

―――ロボットル開始―――

MUR「よしぶち込んでやるぜ」ねらいうち攻撃 レーザー
>>HTN「ウィヒ！」回避

T D K R 「ほらいくど」 がむしやら攻撃 ソード>>>T D N 「
アッー！」 右腕破壊 脚部に貫通

K M R 「M U R さん、いきなりレーザーは当たりませんよ」 索敵行
動 レーダー

T D N 「オフッ！」 選択したパーツは破壊されている

D B 「ヴォー」 うつ攻撃 ライフル>>>T D K R 「ファッ!？」

クリティカル 頭部破壊 機能停止

H T N 「ウィーヒ！」 隠蔽行動 ステルス

M U R 「ちかれた・・・」 ねらいうち攻撃 レーザー>>>T D N

「アッアッ・・・」 脚部破壊 頭部に貫通 頭部破壊 機能停止

―――― ロボトル終了――――

M U R 「楽しかったゾー→（ご満悦）」

K M R 「先輩をリーダー機にしなくてよかったですね」

T D K R 「あつ、K M R さ、俺がパーツ手に入れた時チラチラみて
たよな？ 欲しけりゃやるよ」

K M R 「ありがとうございます」

三人は立教トリオに勝利して終了

釣りをするの巻

チャイムくん「キンコンカーンコン（迫真）」

―― 12:00 学校屋上 ――

TDKR「フー→つかれましたね」

MUR「腹減ったな」

KMR「昼食にしましょう」

MUR「KMRア！今日はなんだ？」

KMR「おにぎり三種とウィンナーと玉子焼きですよ」

TDKR「おっ、うまそうじゃーん。1個いただき」

KMR「先輩、行儀悪いですよ」

TDKR「硬いこというなよ」（モグモグ）

「そんなこんなでご飯を食べ始める3人」

KMR「MURさん、さっきからなに見てるんですか？」

MUR「ん？これか、道に落ちてたんだよ」

「そう言って一冊の雑誌をKMRに差し出す」

KMR「月間、釣りロマン爺ですか」

MUR「そうだよ、おれも釣りしてえな」

KMR「僕も釣りした事ないんで、興味ありますね」

TDKR「うちにい、釣り道具あるんすけど、夜いきます？」

MUR「おっ！いきてえな」

TDKR「じゃけん、後でいきましょうね」

―― 20:00 釣り場 ――

MUR「暗いな、おいKMRア！足元に気をつけろよ（アドバイス）」

――

KMR「はい」

TDKR「竿が2本しかなかったけどいいかな？」

KMR「僕は魚アレルギーなので（大嘘）、MURさんどうぞ」

MUR「おっ、そうか？ よーし釣ってやるぜ」

「釣りを始めてしばらく沈黙する3人、すると遠くで争うような声が聞こえてくる」

「？？」 「やだ！ やだ！ 小生やだ！ ライダー助けて！」

「？？」 「誰が大声出していいつつたコラァ！！ 飛び込めよ早くオ
ラァ！ （腹ライダーキック）」

ザッバーン！（迫真）

「？？」 「溺れる！ 溺れる！」

MUR「おっ、引いてるゾ」

KMR「わぁ、MURさん、がんばってください」

MUR「これは大物だゾ」

ザッバーン！（迫真）

KMR「針が引っかかったただけでしたね」

MUR「ポッチャマ・・・」

「落ち込むMURを尻目に、今度はTDKRに引きが」

TDKR「あーいいいいいいいいいいよ。大物きてる、は
っきりわかなだね」

KMR「MURさん、落ち込んでる場合じゃないですよ。かなりの
大物みたいです！」

MUR「おっ！ TDKRオ、がんばれよ」

TDKR「（魚）暴れんな！ 暴れんなよ！」

TDKR「引きスギイ！（竿が）イクイクイクイク！ンアッー！！」

ザッバーン！（迫真）

「？？」 「ゲホッ！ ゲホッ！ オエッ！ オエッ！ ハッハッハッ・・・（
過呼吸）」

TDKR「デデドン！（驚愕）」

KMR「小学生・・・？、にしては老けてますね」

MUR「海坊主が釣れたな」（ご満悦）」

3人は人命救助して終了

バイトするの巻 ファミレス編

―――学校屋上―――

KMR 「TDKR先輩、また遅刻ですね」

MUR 「そうだな」

KMR 「予想だと、そろそろ来る頃だと思います」

〽KMRの予想通り到着するTDKR〽

TDKR 「また遅刻しちゃいましたよ〽←」

KMR 「これで893日連続遅刻ですね」

MUR 「遅刻大会があれば、優勝だな」

TDKR 「ところでMURさん、金欲しくないですか？」

MUR 「ほしいな」

TDKR 「ですよ、いいバイトあるんだけど、いかない？」

KMR 「ホモビ男優とかじゃないですよ？」

TDKR 「ち、ちがうよ、KMRのバカ！、あれだよ、あの、そう
だ、ファミレスのバイト」

KMR 「ファミレスですか・・・」

MUR 「簡単そうだな、やるか」

TDKR 「じゃけん、店長に連絡しとくんで、後でいきましょうね
」

―――ファミレス―――

TDKR 「この2人が連絡しといたMURさんとKMRです」

MUR KMR 「よろしくお願いします」

店長 「おう、よくきたな、早速着替えるんだよ、早くしろよ」

―――更衣室―――

KMR 「僕達はなんの仕事するんですかね？」

TDKR 「KMRが厨房で、MURさんがロビーで接客」

MUR 「お、そうか」

KMR 「厨房ですか・・・。料理覚えといてよかった」

TDKR「そいじゃ2人ともがんばってね」

くそう告げると去っていくTDKRく

KMR「TDKR先輩どこいったんですかね？」

MUR「さあな、仕事するぞ」

くそれぞれが持ち場に就くく

―――厨房―――

おじさん「なにトロトロやってんだオラァ！（もぐもぐ）」

KMR「は、はい！すいません」

おじさん「オラァ！もっとスピード上げろ！（ゴクゴク）」

KMR「は、はい！すいません」

店員Y「おい！お前なにやってんだ！」

KMR「えっ？えっ？」

おじさん「やべ（全力逃走）」

店員Y「またあのおじさんかぁ・・・壊れるなあ」

KMR「今のおじさん、従業員じゃないんですか？」

店員Y「彼ね、よく忍び込んで勝手に飲み食いしてんだよ」

KMR「えっ、それは（ドン引き）」

―――その頃ロビーのMURは―――

店員K「それじゃ、手本見せるから」

MUR「おう」

店員K「お客様、ご注文はお決まりでしょうか？」

客「ぼくひで」

店員K「かしこまり！」

店員K「次は君がやってみよっか」

MUR「おう」

MUR「お客様、ご注文はお決まりでしょうか？」

客「ねねねね、なんかオススメってある？」

MUR「ライス」

客「じゃあ、スープカレーで」

MUR「かしこまり！」

「注文を厨房のKMRに伝える」

MUR「KMRア！スープカレー1人前」

KMR「はい、よろこんで！」

「仕事を順調に終えた2人は給料を受け取りに行く」

店長「おう、2人ともご苦労さん、帰っていいぞ」

KMR「ちょっと待ってくださいよ！給料は？」

MUR「そうだよ（便乗）」

店長「なに言ってるんだ？給料ならハゲた奴に渡しておいたぞ」

KMR「あのハゲステロイダー、ハメやがったな・・・クソツタレ
！（マジギレ）」

MUR「これはゆるせねえな、そうだろKMRア？」

KMR「ああ、ぶち殺してやる」

————— 野獣邸に乗り込む2人 —————

インターホンくん「ピンポーン！（迫真）」

YJ妹「はい、どちらさま？」

KMR「KMRです、お兄さん帰ってきてる？」

YJ妹「うん、部屋でゲームやってるよ。入って、どうぞ」

「家にあがり、TDKRの部屋に向かう2人」

MUR「デデドン！（ノック音）」

TDKR「うえーい」

「扉を開けてTDKRが顔を出した途端、MURの正拳突きが顔面に炸裂する」

TDKR「ンアッー！！（悶絶）」

MUR「おう、TDKRオ！給料貰いにきたゾ！」

TDKR「もう使っちゃいましたよ（半笑い）」

KMR「ふざけんじゃねえぞ、オラァ！（腹5連釘パンチ）」

TDKR「ンアッ！ンアッ！ンアッ！ンアッ！ンアッー！！！！

(気絶)「

MUR「オラオラ、おねんねするには早いゾ(顔パン)」

TDKR「ぬわあああん勘弁してくださいよおおおん」

YJ妹「おらおらしねしねー！(金玉パン)」

TDKR「ファッ！？(絶命)」

どさくさに紛れて参加するYJ妹

KMR「容赦ないな・・・」

MUR「ポツチャマ・・・(恐怖)」

YJ妹「ついやっちゃったけど、ま、いいよね」

TDKRは妹にトドメをさされて終了

デパートへ行くの巻

チャイムくん「キンコンカンコン！(迫真)」

12..00 学校屋上

TDKR「ぬわあああんつかれたもおおん←」

KMR「はいはい」

MUR「おう、昼飯食おうぜ」

TDKR「プシュッ！ゴクツゴクツ！プハッ→」

KMR「先輩、学校にビールもってこないでくださいよ」

TDKR「堅いこというなよ(ゴクゴク)」

MUR「おい、KMRァ！(唐突)今日の弁当はなんだ？」

KMR「MURさんの好きな、から揚げです」

MUR「いいゾ！これ→(ご満悦)」

TDKR「から揚げとビール合いスギイ！」

KMR「外で飲み食いするってのがまたいいですよね」

MUR「KMRもわかってきたじゃねえか」

TDKR「あ、そうだ(唐突)帰りに育毛剤買いに行くんだけど、2人もこない？」

KMR「特に予定もないですし、いいですよ」

MUR「そうだな(便乗)」

TDKR「じゃけん、帰り寄りましょうね」

19..00 デパート

KMR「育毛剤は医薬品コーナーですかね」

MUR「ついでにガムも買ってくか」

「医薬品コーナーでガムと育毛剤を購入する」

KMR「そうだ、今日はジャンプの発売日ですよ」

MUR「おっ、忘れてたな」

KMR「本屋寄ってきましようよ」

「本屋に到着して、しばらく立ち読みをする3人」

KMR「そろそろ、お腹空きましたね」

MUR「そうだな」

TDKR「あ、MURさん、なんかあ地下にい、タダで飯が食える所があるらしいっすよ」

MUR「タダで食えるのか？ならいきてえな」

TDKR「じゃけん、いきましょうねー」

―― 19..30 デパ地下 ――

TDKR「こ→こ←」

KMR「さすがに活気がありますね」

MUR「おまえら、こっちきてみろ！ウィンナー食い放題だゾ→」

TDKR「MURさん！こっちにはビールありますよ」

MUR「デパ地下にはなんでもあるな」

KMR「2人共、その辺にしといたほうが・・・」

TDKR「なにいつてんだよKMR、お前も食うんだよ」

くKMRも試食コーナーを食い荒らし始めるく

???「お客さん、そろそろ買ってください、オナシヤス！」

TDKR「まだ味がよくわからないんだよね、もうちょっと飲ませて」

???「食ってばっかないで買えよオラァ！」

MUR「お兄さん、これすっげーうまいゾ」

???「お兄さん？君なかなか見所あるね（ご満悦）もっと食べていいよ」

KMR「これ美味しいな・・・。店員さん、これいくらです？」

???「30本（一袋）で5万！」

KMR「ご、5万！？（ブリュリュ！ビチュバチュ！）」

く驚きのあまり、スープカレーを量産するKMRく

KMR「あああ・・・。ト、トイレ・・・」

くトイレに向かうKMR。そこへ戻ってくる2人く

MUR「あれ？KMRどこいった？」

TDKR「店員さん、KMR知らない？」

???「KMRって人かわかんないけど、ワッツってトイレに向
かってった人ならいたね」

MUR「一応トイレいつてみるか」

TDKR「ちょうど、おしっこしたかったんすよ」

トイレへ

MUR「おいKMRア！いるか？」

TDKR「先輩そっち女子トイレっすよ」

MUR「お、そうだな」

TDKR「俺が中見てくるんで、MURさん、適当にフラフラして
てくださいよ」

MUR「おう、まかせたぞ」

21..00 男子トイレ内

TDKR「KMRア！いたら返事しろー、いないな（ジョロロロロ
ロロ）」

KMR「せ、先輩！良いところにきてくれました」

TDKR「お、どうしたー？（ジョロロロロロ）」

KMR「紙がないんで持ってきてもらえますか？」

TDKR「どうすっかなー（ジョロロロロロ）」

KMR「先輩！お願いしますよ」

TDKR「しょうがねえなく、ちよつとまってて（ジョロロロロロ
ロ）」

小便を済ませ外にでる

TDKR「さーて、なにするんだったかな（ド忘れ）」

TDKR「そうだ、MURさん探さなきゃ」

探索する事1時間

22..00 ペットコーナー

TDKR「MURさん、こんなとこにいたんすか」

MUR「お、TDKRオ、お前も見てみるよ、かわいいゾ」

TDKR「なんかもう疲れちゃったし、そろそろ帰りましようよ」

MUR「そうだな、そうするか」

22..10 デパート前

TDKR「いやー、今日はいいい買い物しましたね」

MUR「タダで飯も食えたしな」

TDKR「そいじゃ、MURさんまた明日」

MUR「おう、気をつけて帰れよ」

同時刻

KMR「おーい・・・」

KMRはトイレで孤立して終了

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2157ba/>

空手部の日常

2012年1月5日18時52分発行